

令和6年6月6日

市内小・中学校保護者 様

伊東市立中学校標準服検討委員会委員長

伊東市立中学校新標準服導入について（お知らせ）

向暑の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本市の学校教育活動にご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、伊東市内の5中学校では、令和7年4月の新標準服導入に向け、伊東市立中学校標準服検討委員会を立ち上げ、標準服の在り方や形式等について検討を行ってきました。

この度、新標準服の形式等を下記のとおり決定したことを報告するとともに、選定に係る数々の取組にご協力賜ったことに心より感謝申し上げます。

記

1 標準服変更の理由

これまで市内各中学校の標準服は、男子が詰襟学生服、女子はセーラー服かイートン（襟のないブレザー）となっており、学校のシンボルとして生徒や保護者、地域に長く親しまれてきた。

しかし、生徒の多様性に配慮することが難しいといった人権上の課題、昨今の猛暑や厳しい寒さなど、気候変動に対応しづらいといった機能性の課題など、現行の制服では、時代や環境の変化に適応できなくなってきたことが表面化していた。

そこで、標準服の現状と課題をふまえ、令和の時代に生きる伊東市の中学生にふさわしい市内共通の中学校標準服を定めていくことを、児童生徒及び保護者のアンケート結果も踏まえ決定した。

2 新標準服形式及び配慮事項

(1) 新標準服の形式

冬服	上衣	ブレザー・ワイシャツ
	下衣	スラックスまたはスカート・キュロットスカート
夏服	上衣	ワイシャツまたは指定ポロシャツ（半袖の白か紺・長袖の白）
	下衣	スラックスまたはスカート・キュロットスカート

(2) 新標準服を導入する上での配慮事柄

- ・標準服の下衣は、スラックス及びスカートを選択できるようにする。
- ・夏服の上衣は、指定ポロシャツ及びワイシャツを選択できるようにする。
- ・ブレザーのボタンは全ての学校が共通のものを使用するが、左胸に学校ごとのオリジナルエンブレムを付けて区別できるようにする。
- ・着心地や経済的な負担軽減を鑑み、ネクタイやリボン着用しないようにする。
- ・指定ポロシャツの生地は、伸縮性、吸汗性、速乾性に優れたものを採用する。

また、下着等が透けないよう、紺色も選択できるようにする。

3 新標準服への移行期間

- ・新標準服の導入は令和7年度入学生からとする。ただし、既入学生（2・3年生）が新標準服を着用することも認める。
- ・令和7年度から令和12年度までの6年間でリユース期間とする。この間は、新入学生が兄弟や知人等から譲り受けた旧標準服（現行の標準服である男子の詰襟学生服、女子のセーラー服・イートン）を着用することを認める。
- ・令和7年度から令和12年度までは、新標準服を着用する生徒と旧標準服を着用する生徒が混在するが、令和13年度以降は全員が新標準服となる。

4 資料

(1) 新標準服とボタン



冬服

夏服



ボタン

(2) 各校のエンブレム



南中

北中

宇佐美中

対島中

門野中

伊東市立中学校標準服検討委員会事務局
(伊東市立対島中学校)

担当：荒井 威雄 (校長)

電話：53-0046 (対島中)